

平成 26 年度 風の木苑デイサービスセンター事業報告

平成 26 年度は「要支援者及び要介護者一人ひとりの意思を尊重し専門的な支援やアプローチを図ることによって、自立した快適な生活の継続を目指す。またスタッフは常に探究心をもち、スキルアップに努め、利用者の満足に繋がる質の高いサービスを提供」を目標とした。さらに事業運営に当たっては、目標を見据えながら、「自立した在宅生活継続の支援」・「利用者視点から安全管理の向上を徹底する」・「地域との連携強化」・「稼働率の向上」という 4 つの方針を掲げ具体策に取り組んだ。

(1) 自立した在宅生活継続の支援

自立した在宅生活継続ができるよう全職員で適宜情報会議を設け、利用者個々人の情報を共有した上で運動（機能訓練）を実施した。計画書は生活相談員、介護職、看護師が連携を図り、主体的且つ楽しみながら運動できるように、ご利用者の要望を取り入れた内容とした。デイルーム内だけでなく、施設敷地内や庭園での散歩や、機能訓練の一貫として月に 1 回の施設外活動（外出行事）を実施した。この結果、身体機能の維持、精神状態の安定・向上を図ることができた。

(2) 利用者視点から安全管理の向上を徹底する

25 年度は転倒等の事故がおきてしまったが、それ以降は以前以上にヒヤリハット・事故・苦情報告書を活用し、情報の共有とその対策をたてることができ、26 年度は大きな事故はおきていない。環境整備・衛生面へ留意し体調管理の徹底も行った。

(3) 地域との連携強化

月に 1 回の書道教室や大正琴・琵琶の演奏会等の地域ボランティア、デイサービスでの行事・話し相手等のお手伝いをして下さるボランティアに加え、音楽レクリエーション・歌謡舞踊を行って下さる新規ボランティアを獲得することができた。苑内での行事へ近隣の保育園、小・中学校、地域住民などの参加を呼びかけ、沢山の方に参加していただき、ふれあいの場を設けることができ、皆様とても喜ばれていた。

(4) 稼働率の向上

年間稼働率 70%を目標に掲げ活動し、平成 26 年度実績は 61.3%（平成 25 年度実績 50.4%）と目標達成には至らなかったが、施設広報誌等を適宜発行し、風の木苑デイサービスの存在をアピールすることができた。今後も引き続き、地域・居宅介護支援事業所を中心に PR 活動を実施し新規利用者の獲得に努める。また、利用者一人ひとりの思いを尊重し、快適な在宅生活継続の支援を行い、利用者・家族・地域にとって気軽に利用しやすいデイサービスづくりに努める。